

“ちいさな企業” 成長本部（高知県高知市）  
議事概要

中小企業庁

- ・ 日時：平成25年9月6日（金）14：00～16：00
- ・ 場所：高知県高知市（高知市文化プラザかるぽーと）
- ・ 「“ちいさな企業” 成長本部」行動計画等に関する取組をご紹介いただくとともに、意見交換を行った。
- ・ 参加者からの主なご意見は以下のとおり。

＜中小企業・小規模事業者＞

- 商工会議所の手厚いサポートをいただき、大変助かった。そのおかげで、新サービスの開発や販路開拓にも取り組むことができている。
- 3年前に先代から会社を引き継いだ際は、自分が入社25年と最も古株であったため周りの受け入れは問題なかったが、持ち株の移行と見積業務の引き継ぎがうまくいかなかったので、中小機構や専門家に指導をもらい、対応している。
- 健常者だけでなく、障害者雇用を推進している。将来的には障害者をより多く受け入れ、障害学級も行いたいと考えている。
- 男性スタッフだけではなく女性スタッフにも商品企画に参加してもらっているが、女性が企画したものは評価も高く、今では商品開発の主力となっている。
- 商品開発・製造にあたってコストが大きいのがネックとなっている。県から補助金を受けることになってもお金をもらうのは事業が終わる1年後。この間の資金繰りが厳しいが、補助金をもらうという知事の印鑑だけでは、金融機関から融資をもらえないことが多い。
- 国の補助金を得るのは申請の面で大変だったが、商工会議所の方に協力してもらい対応できた。
- 国からの補助金は税金なのでいずれ税込として地域に還元していきたいと思っている。

### <支援機関等>

- 高知県の明るいところは、本日集まった支援機関のメンバーは皆顔見知りであり、本日集まった経営者の方々も半分以上が顔見知りで、企業・行政・金融機関が一つの家族として連携も取れている点だと思う。
- 支援機関と経営者が協力して一緒に動くことが大事である。今後は支援人材を充実させていくことが重要。人材育成には、資格の取得と経験を積むことが重要。経営者の本当のニーズを汲み取って、支援機関も一体となって成長していきたい。
- 経営指導員に対してコストパフォーマンスを考えることの重要性を伝えている。企業を育てることは人を育てることと同じなので、長い目で見ること重要。
- 国や県の助成事業が中小企業者には認知されていないことが多い。また、助成金の受付期間が短くて申請が間に合わないことも問題。
- 中央では景気の回復という話があるが、地方の中小企業においてはまだ景気回復の認識が無いので、雇用の安定など地方のためになる施策をお願いしたい。
- 大企業は自社で新しい取り組みができるが、小さい企業は単独では難しいので、いくつかの企業でまとまって販路開拓をする場を設けるなどの取り組みをしている。
- 国の制度を活用するのは中小企業のモチベーションを上げるという意味でも重要。申請書類が多く書くのが困難という点などをサポートしていきたい。



以上